

寒天の輸入

令和6年6月19日
横浜税関



2023年は全国、横浜港ともに、通関金額、通関単価過去最高
横浜港は、輸入数量・金額ともに24年連続全国第1位

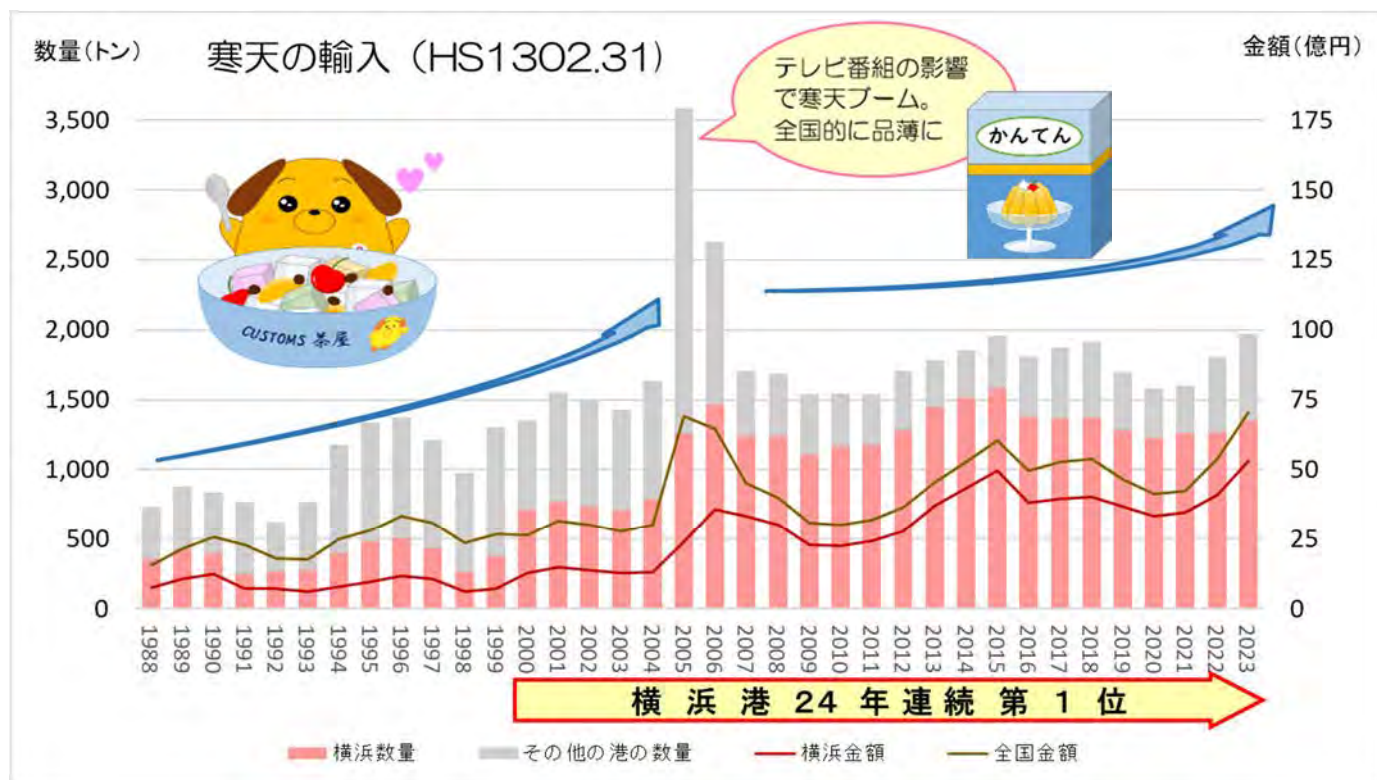
はじめに

今年も暑い夏になりそうです。昔ながらの夏の食べ物として、冷えたところてん、みつ豆、水羊羹などで涼しさを感じてみるのはいかがでしょうか。これらの食品には寒天が使われています。

寒天は、テングサやオゴノリなどの紅藻類を原料（原藻）としています。原藻を煮て寒天質を抽出し、冷却してところてんをつくり、凍結または圧搾脱水し、乾燥させて作ります。

寒天は水とともに加熱すると溶け、冷やすと大量の水分を保持して固まります。この性質を利用して、和菓子、洋菓子をはじめとした多くの食品に使われています。また、エネルギー源とはなりにくい一方、カルシウムや食物繊維を豊富に含んでおり、低エネルギー食品の素材としても注目されています。さらに細菌に分解されにくい特性もあり、微生物を培養する培地、歯科治療における印象材などの医薬用、化粧品など、食品以外の分野でも利用が進んでいます。

2023年の横浜港は、数量・金額ともに2000年以降24年連続第1位の寒天の輸入港となりました。今月は好調に推移している「寒天の輸入」について特集します。



本特集の「寒天の輸入」は、以下の統計品目番号についてまとめたものです。

「寒天」(HS1302.31)

輸入統計品目番号:1302.31-000(2002~2023年)、1302.31-010及び1302.31-090(1988~2001年)

輸出統計品目番号:1302.31-000(1988~2023年)

輸入動向

2023年の寒天の輸入は、全国において数量は1,971トン（対前年比109.3%）、金額は70億36百万円（同130.5%）、このうち横浜港の数量は、1,352トン（対前年比106.6%）、金額は53億24百万円（同129.7%）でした。全国・横浜港ともに、金額において過去最高となりました。

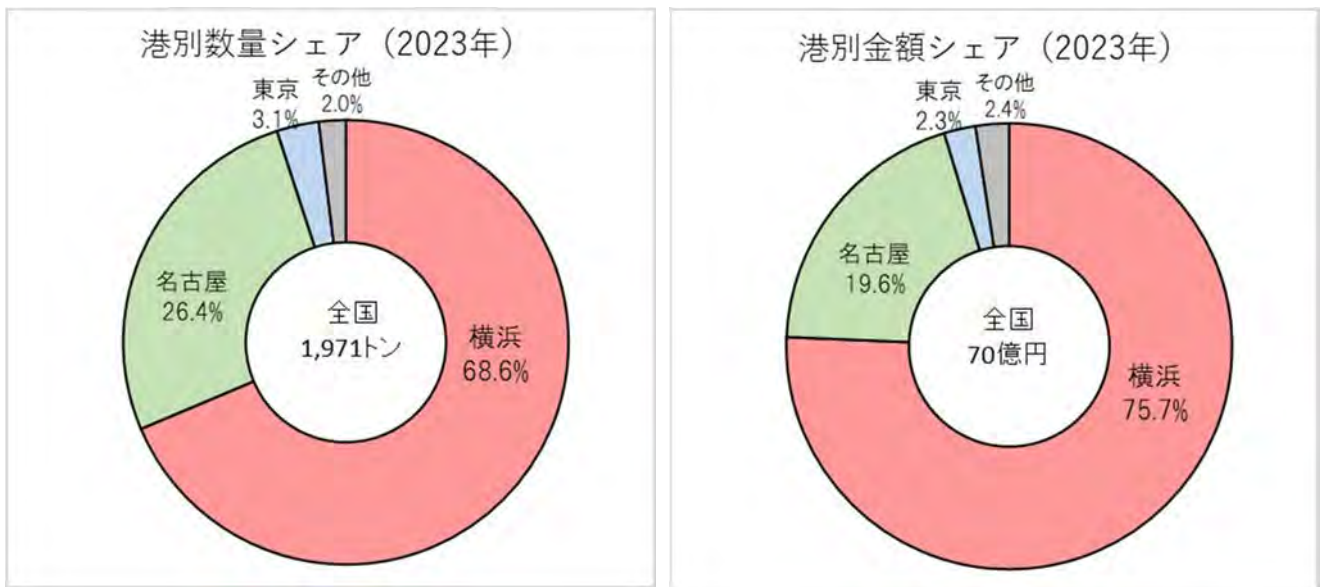
現在の品目分類に近い形式となった1988年と2023年を比較すると、全国において数量は1988年の730トンから2.7倍、金額は15億46百万円から4.6倍に増加しています。

国内で消費される寒天は、以前は国産品が主流でしたが、近年は輸入品の割合が多くなってきています。輸入される寒天は、保存や調理、加工などに便利な粉寒天が主流となっているようです。

港別輸入シェア

2023年の寒天の港別輸入シェアは、次の円グラフのとおりです。2023年の横浜港は、数量で68.6%、金額では75.7%のシェアを占めており、数量・金額ともに2000年以降24年連続全国第1位となりました。

横浜港のシェアが高い理由としては、寒天を取り扱う商社が近隣に所在していること、主に長野県に多い寒天メーカーの工場への物流拠点に近い港として利用されていること、などによるものです。



◎ミニコラム～「寒天」の歴史◎

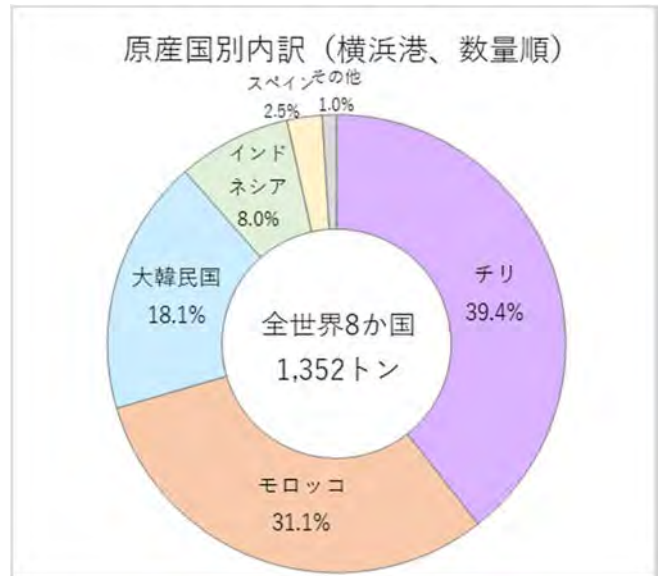
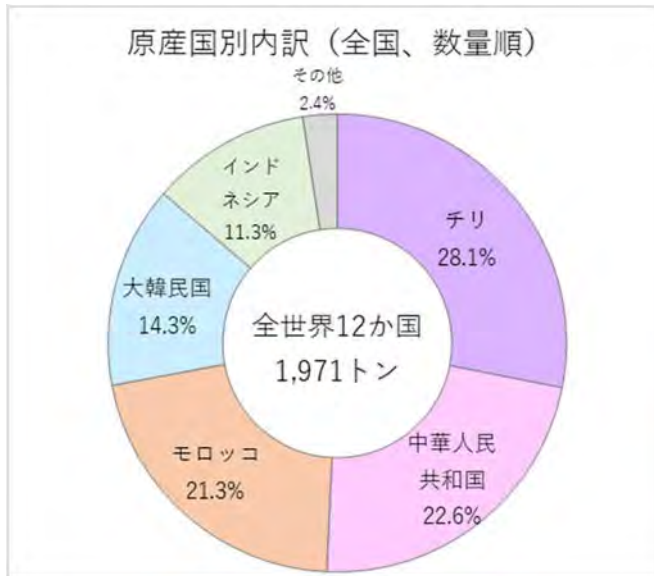
ところてんの歴史は古く古代に遡りますが、寒天は江戸時代の日本が発祥です。一説によると、京都伏見の旅館の主人・美濃屋太郎左衛門が、参勤交代途上の薩摩藩主、島津光久侯の食膳に供したところてんの残りを屋外においたところ、夜の寒さと昼の日光で自然凍結と融解を繰り返し、やがてところてんの乾物となったのがその始まりといわれています。それを再度煮溶かして冷やし固めてみると、それまでより匂いの少ない、透き通ったところてんとなりました。

その後、美濃屋太郎左衛門が売り出した「心太ところてんの干物」を食べて、「寒晒心太かんざらしところてん」⇒「寒天かんぜん」と名付けたのは、宇治に黄檗宗萬福寺を創建した帰化僧の隠元いんげん禅師と伝えられています。



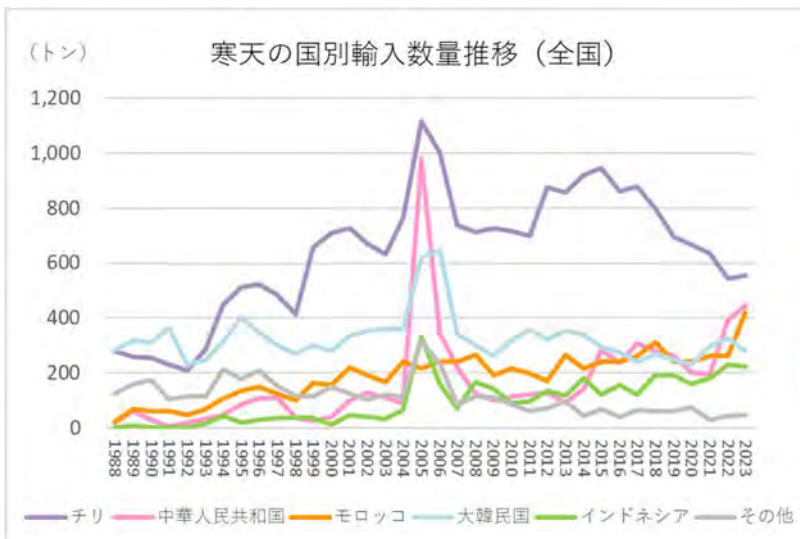
国別輸入動向

2023年は、全国では12か国、横浜港では8か国から寒天が輸入されました。原産国別の輸入実績は、全国・横浜港ともに、数量・金額でチリが第1位で、全国では約3割、横浜港では約4割のシェアを占めています。



全国(2023年)					
国名	数量 (トン)	数量 構成比	金額 (千円)	金額 構成比	通関単価 (円/KG)
全世界 (12か国)	1,971	100.0%	7,035,907	100.0%	3,570
チリ	554	28.1%	2,216,846	31.5%	4,002
中華人民共和国	446	22.6%	1,142,087	16.2%	2,561
モロッコ	420	21.3%	1,669,765	23.7%	3,976
大韓民国	281	14.3%	1,261,063	17.9%	4,488
インドネシア	222	11.3%	523,516	7.4%	2,356
その他	48	2.4%	222,630	3.2%	—

横浜港(2023年)					
国名	数量 (トン)	数量 構成比	金額 (千円)	金額 構成比	通関単価 (円/KG)
全世界 (8か国)	1,352	100.0%	5,323,518	100.0%	3,936
チリ	533	39.4%	2,128,212	40.0%	3,993
モロッコ	420	31.1%	1,669,765	31.4%	3,976
大韓民国	244	18.1%	1,071,558	20.1%	4,389
インドネシア	108	8.0%	260,461	4.9%	2,407
スペイン	34	2.5%	155,716	2.9%	4,648
その他	14	1.0%	37,806	0.7%	—



◎ミニコラム～「寒天」と医学◎

「日本生まれの寒天」が細菌培地として使われ始めたのは、ドイツの家庭婦人、ファニー・アイルシェミウス・ヘッセ夫人のアイデアによります。夫のヘッセ医師が試して成功し、この発見を生理学者ロバート・コッホに紹介した結果、従来のゼラチン培地に優ることが確認されました。

1882年、コッホは結核菌の研究論文の中で、寒天培養基を発表しました。

以降、寒天は世界中で微生物培養に不可欠な基材として発展、利用されています。



（参考：『寒天・トコロテンの科学』松橋鐵治郎著）



チリ…チリは輸入数量・金額ともに第1位となっています。寒天の原料となるオゴノリの養殖が盛んにおこなわれており、大規模な寒天の製造工場が所在していることがその理由として挙げられます。技術指導が進み、良質な寒天が入手できるため、安定した取引がされています。



中華人民共和国…国連のデータによると世界一の輸出量を誇っていますが、横浜港での輸入量は少ないようです。



モロッコ…地中海におけるテングサの産地として有名です。モロッコのテングサは透明で弾力があります。原藻の資源保護の観点から輸出量の制限が行われており、近年価格が上がっています。



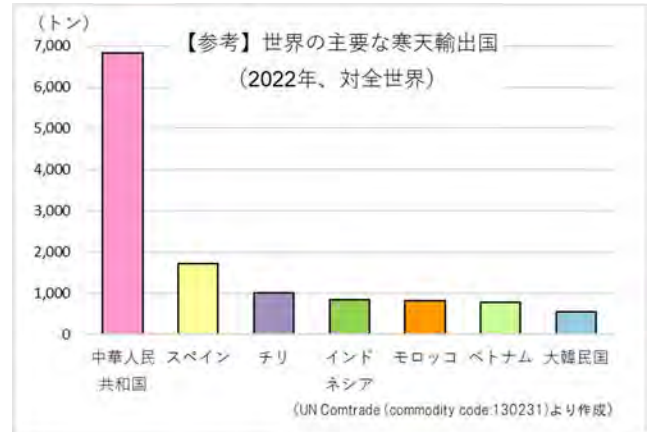
大韓民国…テングサを原料とした天然寒天が含まれており、平均通関単価が高くなっています。



インドネシア…オゴノリの養殖が進み、近年寒天工場が増えています。インドネシア国内でも食品としての寒天の需要が多いそうです。



寒天の原料となる主な海藻の産地
(資料提供：伊那食品工業株式会社)

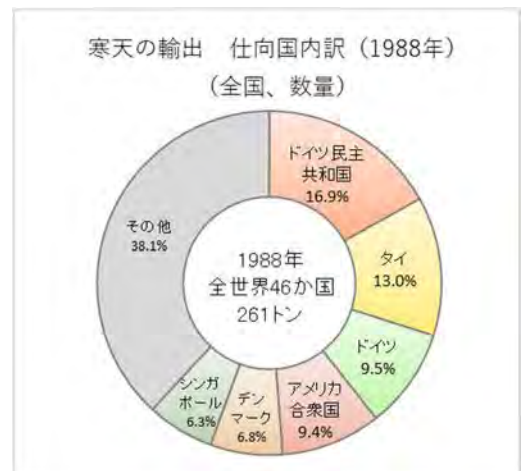
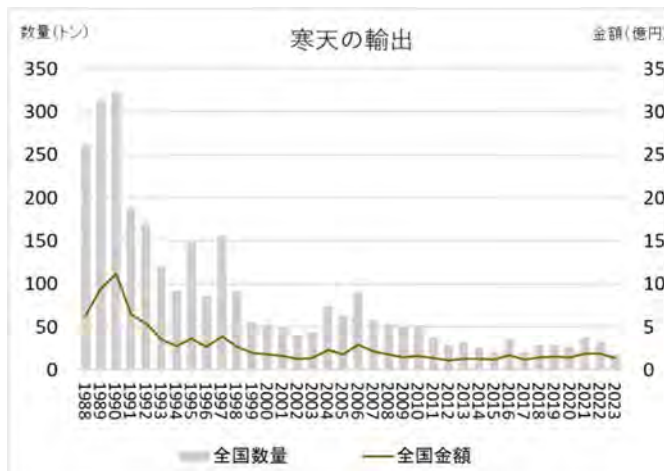


◎ミニコラム～寒天の輸出◎

日本発祥の寒天は、かつて我が国にとって主要な輸出品のひとつでした。

戦争や国内生産量の減少とともに輸出量が減少しましたが、現在の品目分類に近い形式となった36年前の1988年にはまだ、全国の港からドイツ民主共和国(旧東ドイツ)、タイをはじめとした46か国へ合計261トンの輸出が行われていました。

2023年には全国でわずか18トンの輸出となっています。



通関単価の動向

2023年の全国の通関単価は1KGあたり3,570円(対前年比119.3%)と過去最高となりました。1988年以降の36年間中もっとも低い2004年の1KGあたり1,848円と比較すると、1.9倍となっています。

近年の通関単価の上昇については、コンテナ不足による海上運賃の高騰や、物価の全体的な高騰が主な要因とみられています。



今後の見通し

寒天は、2005年の寒天ブーム以降、健康維持やダイエットに効果的であるというイメージが定着し、我が国では「寒天」という原料名称が安心感のある食品材料として認知されています。今後も高齢者向けの製品や、スパウトパウチ型の製品等の需要の伸びが期待され、その原料として、国内市場への安定した供給が求められています。そのため業界では、寒天の輸入量について、今後も安定または微増傾向で推移していくものとみています。

また、輸入価格については、他の加工品と同様に世界的な物価上昇、燃料の高騰等の影響、また世界的に植物性の食品原料が注目を浴びていることなどから、今後も高い水準となる事が予想されています。

<取材協力>伊那食品工業株式会社、株式会社新井清太郎商店、日本海藻協会、マリン・サイエンス株式会社(五十音順、敬称略)
<参考文献>『ものと人間の文化史 190 寒天』中村弘行著、『寒天・ところてん読本』『寒天・トロテンの科学』松橋鐵治郎著

【この資料に関する問い合わせ】

横浜税関 調査部 調査統計課 Tel 045-212-6100

〒231-8401 横浜市中区海岸通1-1

<https://www.customs.go.jp/yokohama/>

本資料を他に転載するときには、横浜税関の資料による旨を必ず注記して下さい。





寒天のミニ知識



◎寒天の製造方法◎

寒天はテングサやオゴノリといった紅藻類こうそうるいという海藻から作られます。

- ① 抽出 海藻を煮て寒天成分を取り出します。
- ② ろ過 ①から不純物を取り除きます。
- ③ 冷却 冷やし固めてところてん（ゼリー）を作ります。
- ④ 脱水 ゆっくり圧力をかけて水分を抜くプレス脱水や、凍らせて水分を抜く冷凍脱水があります。
- ⑤ 乾燥 脱水後に残った水分を取り除いて出来上がります。



◎いろいろな形の寒天◎



角寒天



細寒天



粉末寒天



粒状寒天



錠剤寒天

角寒天、細寒天は昔ながらの寒天だね！



錠剤寒天は計量しやすいよ！

◎寒天の様々な利用法◎

寒天は様々な食品に使われています。

また、食品以外にも幅広く使われています。



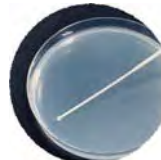
和菓子



ゼリー・プリン



調味料



培地用寒天



臓器モデル



可食性フィルム

…etc.

(資料提供：伊那食品工業株式会社)

◎寒天とゼラチンの違い◎

寒天はテングサなどから造られる植物性の食物繊維なのに対して、ゼラチンは牛や豚の皮や骨から造られる動物性のタンパク質です。

固まる温度は、寒天は35～40℃、ゼラチンは15～20℃です。また、溶け出す温度も寒天は85～95℃と高いのに比べ、ゼラチンは20～30℃と低いので、ゼラチンは夏の気温では溶け出してしまいます。このようにゼリーとして見た目には大変よく似ていますが、原料も性質も異なっています。

	寒天	ゼラチン
原料	テングサやオゴノリなどの海藻	牛や豚などのコラーゲン
溶ける温度	85～95℃以上	20～30℃以上
固まる温度	35～40℃（常温）	15～20℃以下（冷蔵庫）



テングサ属マクサ



オゴノリ属オゴノリ

植物性の寒天は、最近欧米でも流行だワン！



（資料提供：伊那食品工業株式会社）

◎寒天を使ってスイーツをつくってみよう◎

～カスタムくん色の牛乳かん～

材料

牛乳 300CC
みかんの缶詰 1缶
水 300CC
砂糖 約60g
粉末寒天 5g



作り方

1. 牛乳 300CC は、レンジで 40℃程度に温めます。
みかんの缶詰は、シロップを切っておきます。
2. 水と粉末寒天を鍋にいれよくかきまぜ、火にかけます。
3. 沸騰してきたら砂糖をいれ、溶けたら火をとめます。
4. 3.の鍋に1の温かい牛乳をいれ、かきまぜます。
ポイント★冷たい牛乳を入れると寒天が固まらなくなることがあるので注意しましょう。
5. 容器に1のみかんを入れて、4を静かに流しいれます。
あら熱がとれたら冷蔵庫に入れて固まるまで冷やします。

寒天の輸入に係る各種データ

本特集の「寒天の輸入」は、以下の統計品目番号についてまとめたものです。 ※1988年～2022年は確定値、2023年は確々報値
 「寒天」(HS1302.31)
 (輸入統計品目番号:2002年以降は1302.31-000、2001年以前は1302.31-010及び1302.31-090)
 (輸出統計品目番号:1302.31-000)

1. 寒天の輸入及び輸出実績推移

年	全国・輸入					横浜港・輸入							全国・輸出		
	数量 (KG)	前年比	金額 (千円)	前年比	通関単価 (円/KG)	数量 (KG)	前年比	全国比	金額 (千円)	前年比	全国比	通関単価 (円/KG)	数量 (KG)	金額 (千円)	通関単価 (円/KG)
1988	730,223	—	1,546,262	—	2,118	357,560	—	49.0%	750,655	—	48.5%	2,099	260,739	627,416	2,406
1989	876,109	120.0%	2,149,809	139.0%	2,454	424,735	118.8%	48.5%	1,048,983	139.7%	48.8%	2,470	313,309	935,760	2,987
1990	835,547	95.4%	2,548,783	118.6%	3,050	398,501	93.8%	47.7%	1,251,804	119.3%	49.1%	3,141	323,055	1,115,665	3,453
1991	763,957	91.4%	2,279,070	89.4%	2,983	246,774	61.9%	32.3%	719,652	57.5%	31.6%	2,916	187,499	647,449	3,453
1992	617,105	80.8%	1,783,060	78.2%	2,889	261,625	106.0%	42.4%	708,854	98.5%	39.8%	2,709	170,143	537,730	3,160
1993	769,105	124.6%	1,740,974	97.6%	2,264	269,985	103.2%	35.1%	614,468	86.7%	35.3%	2,276	121,262	353,455	2,915
1994	1,178,970	153.3%	2,471,443	142.0%	2,096	396,141	146.7%	33.6%	799,033	130.0%	32.3%	2,017	91,756	276,376	3,012
1995	1,337,983	113.5%	2,801,449	113.4%	2,094	479,943	121.2%	35.9%	968,099	121.2%	34.6%	2,017	148,676	364,609	2,452
1996	1,369,790	102.4%	3,310,686	118.2%	2,417	500,178	104.2%	36.5%	1,159,064	119.7%	35.0%	2,317	85,636	269,932	3,152
1997	1,213,193	88.6%	3,095,645	93.5%	2,552	430,094	86.0%	35.5%	1,066,624	92.0%	34.5%	2,480	156,680	390,673	2,493
1998	973,084	80.2%	2,337,437	75.5%	2,402	266,827	62.0%	27.4%	613,466	57.5%	26.2%	2,299	90,569	271,663	3,000
1999	1,298,495	133.4%	2,673,767	114.4%	2,059	379,101	142.1%	29.2%	708,700	115.5%	26.5%	1,869	55,134	199,700	3,622
2000	1,349,094	103.9%	2,628,751	98.3%	1,949	712,378	187.9%	52.8%	1,287,962	181.7%	49.0%	1,808	51,313	184,181	3,589
2001	1,551,851	115.0%	3,141,144	119.5%	2,024	768,770	107.9%	49.5%	1,467,693	114.0%	46.7%	1,909	49,802	165,483	3,323
2002	1,488,233	95.9%	3,010,503	95.8%	2,023	728,194	94.7%	48.9%	1,373,845	93.6%	45.6%	1,887	40,413	131,548	3,255
2003	1,428,280	96.0%	2,781,052	92.4%	1,947	701,977	96.4%	49.1%	1,257,184	91.5%	45.2%	1,791	44,217	138,630	3,135
2004	1,633,123	114.3%	3,018,171	108.5%	1,848	786,060	112.0%	48.1%	1,312,828	104.4%	43.5%	1,670	74,694	230,938	3,092
2005	3,586,075	219.6%	6,911,408	229.0%	1,927	1,257,706	160.0%	35.1%	2,375,336	180.9%	34.4%	1,889	63,237	181,127	2,864
2006	2,629,266	73.3%	6,443,567	93.2%	2,451	1,464,812	116.5%	55.7%	3,578,106	150.6%	55.5%	2,443	90,303	295,843	3,276
2007	1,702,373	64.7%	4,520,270	70.2%	2,655	1,237,653	84.5%	72.7%	3,311,906	92.6%	73.3%	2,676	58,101	213,317	3,671
2008	1,683,301	98.9%	3,996,952	88.4%	2,374	1,240,715	100.2%	73.7%	2,995,599	90.4%	74.9%	2,414	53,345	178,164	3,340
2009	1,535,319	91.2%	3,076,448	77.0%	2,004	1,105,577	89.1%	72.0%	2,263,194	75.6%	73.6%	2,047	49,603	146,727	2,958
2010	1,545,607	100.7%	3,009,633	97.8%	1,947	1,164,650	105.3%	75.4%	2,241,883	99.1%	74.5%	1,925	51,740	164,664	3,183
2011	1,535,350	99.3%	3,169,537	105.3%	2,064	1,176,383	101.0%	76.6%	2,412,090	107.6%	76.1%	2,050	37,328	133,978	3,589
2012	1,706,346	111.1%	3,629,503	114.5%	2,127	1,284,304	109.2%	75.3%	2,758,940	114.4%	76.0%	2,148	28,596	108,915	3,809
2013	1,785,296	104.6%	4,552,604	125.4%	2,550	1,447,475	112.7%	81.1%	3,720,789	134.9%	81.7%	2,571	31,575	128,182	4,060
2014	1,850,257	103.6%	5,281,013	116.0%	2,854	1,508,590	104.2%	81.5%	4,326,872	116.3%	81.9%	2,868	26,829	125,740	4,687
2015	1,954,944	105.7%	6,032,792	114.2%	3,086	1,577,990	104.6%	80.7%	4,950,874	114.4%	82.1%	3,137	21,052	119,297	5,667
2016	1,813,347	92.8%	4,947,619	82.0%	2,728	1,377,990	87.3%	76.0%	3,819,353	77.1%	77.2%	2,772	35,671	169,154	4,742
2017	1,875,399	103.4%	5,275,824	106.6%	2,813	1,365,595	99.1%	72.8%	3,948,028	103.4%	74.8%	2,891	20,792	123,366	5,933
2018	1,914,235	102.1%	5,374,454	101.9%	2,808	1,374,596	100.7%	71.8%	4,029,333	102.1%	75.0%	2,931	29,374	150,109	5,110
2019	1,700,551	88.8%	4,643,099	86.4%	2,730	1,278,440	93.0%	75.2%	3,673,747	91.2%	79.1%	2,874	28,803	157,220	5,458
2020	1,578,185	92.8%	4,128,458	88.9%	2,616	1,222,161	95.6%	77.4%	3,318,542	90.3%	80.4%	2,715	27,535	150,642	5,471
2021	1,603,782	101.6%	4,229,701	102.5%	2,637	1,256,565	102.8%	78.4%	3,474,998	104.7%	82.2%	2,765	37,708	190,778	5,059
2022	1,802,283	112.4%	5,392,001	127.5%	2,992	1,268,742	101.0%	70.4%	4,104,151	118.1%	76.1%	3,235	32,610	192,775	5,912
2023	1,970,622	109.3%	7,035,907	130.5%	3,570	1,352,353	106.6%	68.6%	5,323,518	129.7%	75.7%	3,936	17,973	141,410	7,868

2. 寒天の港別輸入実績 (2023年)

港名	数量 (KG)	構成比	金額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)
全国	1,970,622	100.0%	7,035,907	100.0%	3,570
横浜	1,352,353	68.6%	5,323,518	75.7%	3,936
名古屋	519,550	26.4%	1,380,330	19.6%	2,657
東京	60,199	3.1%	161,408	2.3%	2,681
その他	38,520	2.0%	170,651	2.4%	—

3-1. 寒天の国別輸入実績（2023年）

全 国					横 浜						
国名	数量 (KG)	構成比	金額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)	国名	数量 (KG)	構成比	金額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)
全 世 界 (12 国)	1,970,622	100.0%	7,035,907	100.0%	3,570	全 世 界 (8 国)	1,352,353	100.0%	5,323,518	100.0%	3,936
チ リ	554,000	28.1%	2,216,846	31.5%	4,002	チ リ	533,000	39.4%	2,128,212	40.0%	3,993
中華人民共和国	445,906	22.6%	1,142,087	16.2%	2,561	モ ロ ッ コ	420,000	31.1%	1,669,765	31.4%	3,976
モ ロ ッ コ	420,000	21.3%	1,669,765	23.7%	3,976	大 韓 民 国	244,120	18.1%	1,071,558	20.1%	4,389
大 韓 民 国	281,016	14.3%	1,261,063	17.9%	4,488	インドネシア	108,200	8.0%	260,461	4.9%	2,407
インドネシア	222,200	11.3%	523,516	7.4%	2,356	ス ペ イ ン	33,500	2.5%	155,716	2.9%	4,648
そ の 他	47,500	2.4%	222,630	3.2%	—	そ の 他	13,533	1.0%	37,806	0.7%	—

3-2. 寒天の国別輸入実績推移（全国）

年	チリ			中華人民共和国			モロッコ			大韓民国			インドネシア		
	数量 (KG)	金額 (千円)	通関単価 (円/KG)	数量 (KG)	金額 (千円)	通関単価 (円/KG)	数量 (KG)	金額 (千円)	通関単価 (円/KG)	数量 (KG)	金額 (千円)	通関単価 (円/KG)	数量 (KG)	金額 (千円)	通関単価 (円/KG)
1988	279,220	563,975	2,020	20,202	28,710	1,421	24,000	48,881	2,037	281,923	593,081	2,104	—	—	—
1989	260,450	649,794	2,495	60,997	115,704	1,897	67,000	158,394	2,364	317,723	768,802	2,420	10,000	29,107	2,911
1990	257,000	784,859	3,054	28,054	61,585	2,195	62,975	198,118	3,146	311,642	865,658	2,778	—	—	—
1991	230,500	660,919	2,867	4,560	11,339	2,487	61,100	182,542	2,988	364,030	1,072,371	2,946	—	—	—
1992	208,400	530,244	2,544	19,200	46,177	2,405	46,000	129,284	2,811	230,613	741,050	3,213	—	—	—
1993	286,420	591,454	2,065	32,800	64,302	1,960	68,500	151,405	2,210	249,670	598,575	2,397	15,640	27,113	1,734
1994	450,405	842,832	1,871	45,760	85,442	1,867	109,000	228,996	2,101	314,977	734,521	2,332	44,900	77,338	1,722
1995	513,385	962,652	1,875	87,406	160,679	1,838	136,000	266,323	1,958	403,794	949,488	2,351	21,000	30,369	1,446
1996	523,340	1,183,668	2,262	108,501	249,188	2,297	150,000	335,978	2,240	347,902	906,168	2,605	29,850	56,267	1,885
1997	484,100	1,179,515	2,437	112,278	276,716	2,465	123,680	270,709	2,189	302,609	803,807	2,656	36,300	69,363	1,911
1998	413,025	927,020	2,244	36,002	94,496	2,625	100,000	224,710	2,247	268,072	636,694	2,375	36,350	67,110	1,846
1999	657,180	1,212,681	1,845	26,770	77,347	2,889	162,309	349,459	2,153	299,640	680,983	2,273	37,850	65,805	1,739
2000	708,940	1,234,973	1,742	40,846	95,389	2,335	156,000	303,674	1,947	280,300	650,015	2,319	13,500	21,373	1,583
2001	728,000	1,365,365	1,876	99,715	206,107	2,067	219,000	415,540	1,897	335,439	749,195	2,233	46,300	78,652	1,699
2002	670,804	1,235,384	1,842	127,171	240,493	1,891	192,000	369,154	1,923	353,730	821,496	2,322	42,000	72,555	1,728
2003	632,300	1,093,456	1,729	112,288	207,527	1,848	168,000	317,942	1,893	360,720	823,727	2,284	32,600	52,860	1,621
2004	761,936	1,223,148	1,605	91,431	124,367	1,360	242,000	481,405	1,989	360,101	829,216	2,303	63,800	90,231	1,414
2005	1,116,926	2,005,096	1,795	979,929	1,692,151	1,727	217,000	433,737	1,999	621,097	1,594,825	2,568	333,280	504,530	1,514
2006	1,002,908	2,330,399	2,324	346,784	637,536	1,838	240,000	537,370	2,239	647,525	2,029,368	3,134	159,470	313,691	1,967
2007	738,400	1,813,173	2,456	220,450	410,922	1,864	242,000	697,650	2,883	344,360	1,164,049	3,380	72,000	143,263	1,990
2008	712,000	1,483,392	2,083	123,929	194,908	1,573	267,000	744,874	2,790	299,738	934,287	3,117	167,790	281,236	1,676
2009	728,160	1,259,492	1,730	100,579	129,745	1,290	192,000	490,256	2,553	260,671	653,008	2,505	141,400	211,025	1,492
2010	716,999	1,159,250	1,617	114,542	150,883	1,317	218,000	536,720	2,462	319,621	810,767	2,537	88,850	128,981	1,452
2011	701,060	1,260,825	1,798	122,325	187,024	1,529	197,490	499,594	2,530	358,671	898,916	2,506	95,740	156,837	1,638
2012	877,300	1,703,054	1,941	130,033	197,321	1,517	171,000	440,103	2,574	321,271	882,044	2,745	134,400	206,161	1,534
2013	856,500	2,173,326	2,537	92,982	175,308	1,885	265,000	722,588	2,727	355,096	988,979	2,785	117,300	202,495	1,726
2014	921,990	2,702,666	2,931	143,870	316,946	2,203	218,000	640,508	2,938	338,713	1,027,006	3,032	182,320	425,048	2,331
2015	947,000	3,078,375	3,251	282,062	672,370	2,384	242,000	758,272	3,133	292,741	970,066	3,314	122,040	301,552	2,471
2016	860,000	2,312,759	2,689	237,622	448,395	1,887	240,000	770,453	3,210	278,093	950,963	3,420	155,500	293,277	1,886
2017	878,000	2,366,176	2,695	308,632	623,347	2,020	264,000	875,360	3,316	240,519	925,812	3,849	120,448	229,528	1,906
2018	796,546	2,048,920	2,572	279,294	541,546	1,939	312,000	1,050,895	3,368	270,656	1,117,971	4,131	193,100	350,423	1,815
2019	695,610	1,771,714	2,547	263,280	469,675	1,784	240,000	819,905	3,416	248,553	995,659	4,006	191,150	329,404	1,723
2020	666,551	1,581,854	2,373	202,368	334,667	1,654	240,000	830,577	3,461	231,112	813,763	3,521	161,375	263,106	1,630
2021	636,800	1,529,797	2,402	194,260	346,987	1,786	264,000	925,227	3,505	297,477	1,005,033	3,379	179,700	297,254	1,654
2022	545,000	1,734,380	3,182	393,500	856,479	2,177	264,000	964,446	3,653	326,586	1,183,207	3,623	229,300	484,311	2,112
2023	554,000	2,216,846	4,002	445,906	1,142,087	2,561	420,000	1,669,765	3,976	281,016	1,261,063	4,488	222,200	523,516	2,356

4. 寒天の国別輸出実績（1988年、全国）

国 名	数量 (KG)	構成比	金額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)
全 世 界 (46 国)	260,739	100.0%	627,416	100.0%	2,406
ドイツ民主共和国	44,000	16.9%	87,549	14.0%	1,990
タ イ	34,000	13.0%	67,035	10.7%	1,972
ド イ ツ	24,657	9.5%	57,292	9.1%	2,324
アメリカ合衆国	24,524	9.4%	76,604	12.2%	3,124
デン マ ー ク	17,681	6.8%	44,341	7.1%	2,508
シンガポール	16,500	6.3%	34,906	5.6%	2,116
そ の 他	99,377	38.1%	259,689	41.4%	—

5. 世界の寒天の主要輸出国（2022年）

国 名	数量 (KG)
中華人民共和国	6,823,502
ス ペ イ ン	1,722,836
チ リ	1,017,695
インドネシア	833,123
モ ロ ッ コ	814,206
ベトナム	787,793
大 韓 民 国	556,546
日 本	32,610

※UN Comtradeより作成（HS Commodity Code 130231）